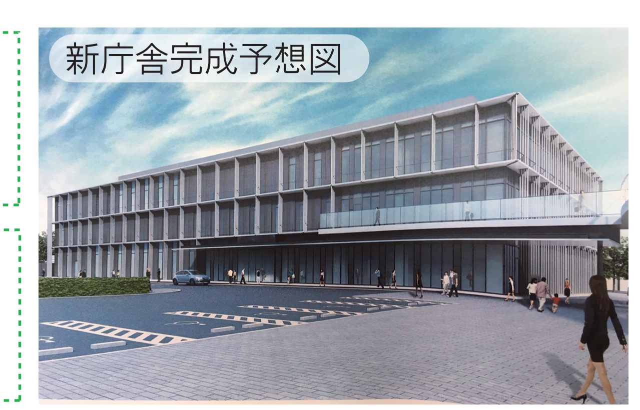
市長選での大きな5つのテーマの進捗状況

新庁舎建設 以前の基本設計約52億4千万円→今回の実施設計約39億4千万円!! 約13億円の削減に成功!!

■市長選の大きなテーマの一つであった**「新庁舎建設」**。しかし、市長に当選したからと強引に進めること無く、**「市議会との意見交換」**、そして**「市長キャラバン」**等を行い、丁寧に事業計画の見直しを進めました。■皆さんからのご意見としては、**「多額の設計事業費の削減を！」「民間テナントへの移転も含めて場所の再考を！」**などが多く、それを受け、土浦市庁舎、木更津市庁舎、豊島区役所などへの視察や設計会社とのやりとりを行いました。■そうした中で、吉川市初の避難勧告を発令した昨年27年9月の豪雨被害、今年28年4月の熊本地震も踏まえ、以下のように実施設計をまとめ上げました。新庁舎の完成使用開始は**平成30年5月**を予定しています。

場所 ●場所はこれまで通り、昨年の豪雨被害の中でも浸水が見られなかった**「おあしす」横**とします。●隣接する運動公園は災害時の拠点にもなりますし、連携すべき消防署との距離も近くなります。

概算事業費 ●ここまでで、約13億円の削減を可能にし、**約39億4千万円**という事業費を予定しています。●これにより、福祉や教育など、より直接市民の皆さんにプラスになる部分に税金を使う事が可能となります。


新庁舎完成予想図

建物 ●これまで通り**3階建てとし**、周辺環境へ配慮すると同時に、2階部分でおあしすと連結し一体整備を行います。●さらに市役所内の会議室の市民利用を可能にし、市民に開かれた庁舎とします。

構造 ●熊本地震において、倒壊などで使用不可になったのは現在の吉川市役所と同じ「旧耐震構造」のものです。●一刻も早く強度の高い庁舎とし、災害時の指令本部としての役割を果たすためにも、耐震構造で**スピードを持って**建設にあたります。

吉川美南駅東口の開発

■住宅を中心とした旧来の開発では無く、吉川市全ての市民の憩いの街となるように**「みんなの庭」**というコンセプトを掲げ、計画を見直しました。■これにより**地権者同意率は85%→92%**となり、農林調整も無事に終わり、いよいよ街づくりが本格稼働します！

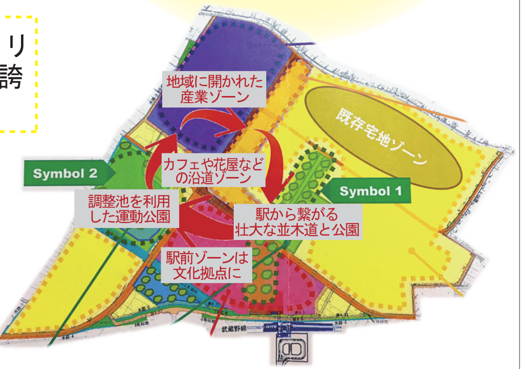
ポイント① 駅前に公園面積を集約し、街路樹のあるシンボリックな公園とし、災害時の拠点にもします。

ポイント② 沿道にはカフェや花屋、吉川名産店が並び、街歩きを楽しめるようにします。

ポイント③ 産業ゾーンには、クリーンで見学の出来るような市民の誇りとなる企業の誘致を進めます。

ポイント④ 調整池は底面利用の運動公園とし、子供達から高齢者までのスポーツ拠点とします。

ポイント⑤ 駅前ゾーンに文化的施設の誘致を目指し、吉川市の文化芸術拠点とします。



吉川美南駅東口周辺地区・まちづくりコンセプト図

フロリデーション問題

■反対署名がここまでで**約9200筆**も集まったフロリデーション問題。市長就任後、直ちに、**「フロリデーションに関わる予算の廃止」**を実行に移しました。■しかし、平成27年6月議会において、「保健センターの給水器を撤去したのは何故か？フロリデーション水を飲みたい人の選択の自由を奪うことになるのでは？」などの質問が、**自民党の加藤克明議員**からなされました。

■さらに平成27年10月に中央公民館で開催された吉川松伏医師会・吉川歯科医師会等が主催した市民フォーラムが**「フロリデーション推進」**と受け取れるような内容であり、多くの市民の皆さまから**「市が共催しているのに何故だ！」**という抗議の声が届きました。■事前に**「講演内容にはフロリデーション推進を含めない」**と医師会から話があったため共催を承諾したのですが、それを反故にした医師会、歯科医師会に遺憾の意を伝えました。

■今後も私が市長である間は、市として
「フロリデーション推進事業」は行いません。

新中学校建設

■新中学校の早期建設もテーマのひとつでしたが、**「市長キャラバン」**では**「新たな建物を建てるより、スクールバスにより他の中学校に生徒をうまく分散できないのか？」**等の意見がありました。■しかし、吉川美南地区の人口増加は著しく、他の3つの中学校でも受け入れる教室が足りません。そこで、やはり**「早期に建設すべき」**とし、**平成32年春開校予定**としました。■もっと早められないかと模索しましたが、建設期間を短縮できても最大半年であり、学校は春開校なのでやはり最短でH32年春開校となってしまいます。■今後は、**「周辺地区にとってこの先必要とされる校舎とはどのようなものか」**等、皆さんからのご意見をいただきながら設計を進めてゆきます。

ワクチン接種問題～学校医・介護認定医大量辞任問題

■要望署名がここまでで**6000筆**を超えた「ワクチン接種問題」。これに対して**共産党の雪田きよみ議員**は事実誤認の情報を発信し、市民から抗議の声も起こり始めていますが、はじまりは「医師会内部の分裂」です。■私は市長として、そのどちらに加担することもなく、「市民が不便を強いられてきた状況を改善する」という方向で、「医師会に属していようが、属していまいが」、手を挙げていただいた医療機関と契約し、分裂以前までに行われていた通りに直接公費でのワクチン接種を可能としたのです。■その結果、接種件数が全体で約1万1500件のうち、**医師会に属していない医療機関での接種は約2600件。**それだけ市民が望んでいたということです。

■しかしこの個別契約に対しても、**公明党の五十嵐えち子議員**は、「医師会に属していない医療機関と契約すると、医師会が市の他の保健事業に協力してくれなくなる。それが今回の学校医や介護認定医の大量辞任につながった。個別契約をやめるべきだ。」という旨の発言をし、**自民党の吉川敏幸議員**も前述の様に多くの子供達母親達が望んでいたワクチン接種問題に対して、「災いをもたらすものを助長してしまった」と発言をしました。■これらは「市民の側に立った発言」とは私は思えません。実際にその吉川議員の発言に他の議員から異議が唱えられ、議会が中断される事態にもなりました。

■私は市長として、**市民の健康福祉のための政策**を展開しているのであり、医師会との対立を望んでいるわけではありません。議会において、**今回の学校医・介護認定医の大量辞任の背景・理由**をこのワクチン問題に結びつける質問が数名の議員からありましたが、医師会には市の政策、市民の願いをご理解いただけるように、これまで通りしっかりとお伝えしてゆきたいと考えています。

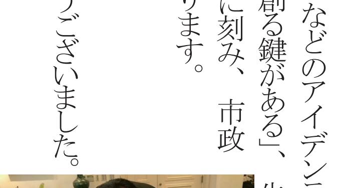
ダイアリー ＊＊＊日々、全力投球！！＊＊＊

李登輝先生と

台湾にある
「李登輝先生」宅へ
伺いました。

■「静かなる革命」により、台湾の民主化を進めた哲人政治家「李登輝先生」。■以前より先生の著作、論文を読ませていただいており、先生の政治家としての理念には深く感銘を受けていました。■「死と生への深い考察」からはじまる自己存在のありよう、そしてそれを土台とした、政策実現に向けた「発想」、周到な「準備」、「実行力」……。■台湾初の直接民主選挙で台湾総統となり、「台湾の民主化」を進めるべく人生を捧げた李登輝先生のその取り組みは、様々な形で自治体の長に「教え」を与えてくださいます。■そうした「李登輝先生」と直接お話しさせていただき、時間・空間をご一緒出来たことは本当に光栄でした。■「日本人が古くから持つ、『義』『勇』『礼』『誠』などのアイデンティティの中にこそ未来を創る鍵がある」、先生のそうしたお言葉を胸に刻み、市政運営にあたります。

先生、
ありがとうございました。



初登庁

市長室にて

英語授業見学

「なまずの里よしかわ」PRキャンペーン ららぽーと新三郷にて

保育園卒園式

陶芸サークルにて

なまずの里マラソン 高橋尚子さんをお招きして

少年サッカー大会

議会

行政会議

国際友好協会の方々と募金の呼びかけを

消防出初式

現場視察

どこでも市長

吉川の風景を寄贈していただきました

記者会見にて

吉川駅にてリーフレット配布

水害現場の視察へ

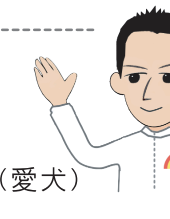
様々な総会等でのご挨拶

小中学校での「市長とランチミーティング」

市長キャラバン

現場視察

プロフィール



中原恵人（なかはら　しげと）
1970年5月22日生まれ／ふたご座／O型
吉川市在住／家族・妻、二男一女、デイジー（愛犬）

主な経歴
1989年 開成高校卒／1998年 筑波大学第一学群社会学類政治学科卒業
2011年4月より 埼玉県議会議員／2015年3月より 吉川市長 現在に至る

趣味

スポーツ

野球｜フットサル｜格闘技など

旅

アジア放浪

バイク

天気の良い日にツーリング

仮面ライダー響鬼

大好き・笑

創作活動

音楽｜絵画｜文章

著作

「これほどまでに不登校・ひきこもりを生み出す社会とは何なのか？」（北大路書房）など

コラム

■皆さん、お元気ですか？皆さんと中原恵人を結ぶ、リーフレット「吉川ミーティング」を今回もお読みいただきありがとうございます。

■市長に就任して約1年半。朝はテクテクと歩いて市役所に向かい、昼は様々な案件に取り組み、夜は会議・会合と文字通り朝から晩まで全力投球の毎日です。そうした中、大きな案件だった「新庁舎建設」「吉川美南駅前開発」「新中学校建設」にしっかりと方向性を打ち出せたのも、多くの方々の共動と支えのおかげです。ありがとうございました。■そして今年、平成28年は「市制施行20周年」。その記念すべき年を迎えるにあたって、❶「吉川市の先人・歴史に敬意と感謝を持つ1年にしよう」、❷「吉川市の名産に光をあてる1年にしよう」、❸「それらを多くの市民の皆さんと成し遂げよう」という3つのテーマを掲げました。

■このテーマにそった「20周年記念イベント」の第一弾は「いくべ～よし！川まつり」。その開催が8月28日(日)に決定しました。

■「いくべ～よし！川まつり」
早場米を江戸に送る、中川の舟運で栄えた私達の吉川。その歴史をたどるために、中川を舞台に「宝船の出航」や「市民参加の船レース」、さらに郷土料理である「川魚料理の出店」等を行います。加えて昭和22年の「カスリーン台風での被害展示」も行い、川からの恩恵だけではなく災害時の脅威も知ることができるイベントとなっています。■舞台は、中川台団地横の中川土手が第一会場、吉川小学校が第二会場となります。ぜひ多くの皆さんにご参加いただき、吉川の歴史や文化に親しんでいただければと思います。（※詳細・お問い合わせは➡吉川市役所まで）

価値ある未来を、共に

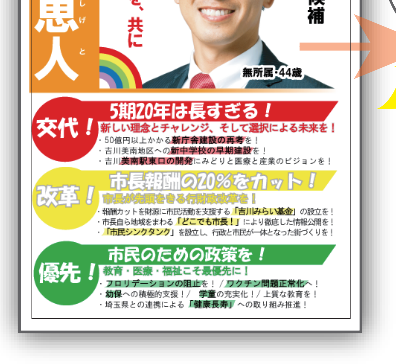
市政報告リーフレット＜討議資料＞
吉川ミーティングVOL.22

今年は市制施行20周年!!
澄まち 育まち 大好き 吉川

吉川市長
中原恵人（しげと）

20周年の合言葉は!!
★先人と歴史に感謝を!★吉川の名産に光を!★多くの市民との共動で!!

昨年(2015年)の市長選挙での中原恵人の政策提言の進捗度をチェック!!


前埼玉県議会議員
中原恵人
価値ある未来を、共に
吉川市長候補
無所属・44歳
交代！ 5期20年は長すぎる！ 新しい理念とチャレンジ、そして選択による未来を！
・50億円以上かかる新庁舎建設の再考を！
・吉川美南地区への新中学校の早期建設を！
・吉川美南駅東口の開発にみどりと医療と産業のビジョンを！
改革！ 市長報酬の20%をカット！ 市長が先頭をきる行財政改革を！
・報酬カットを財源に市民活動を支援する「吉川みらい基金」の設立を！
・市長自ら地域をまわる「どこでも市長！」により徹底した情報公開を！
・「市民シンクタンク」を設立し、行政と市民が一体となった街づくりを！
優先！ 市民のための政策を！ 教育・医療・福祉こそ最優先に！
・フロリデーションの阻止を！／ワクチン問題正常化へ！
・幼保への積極的支援！／学童の充実化！／上質な教育を！
・埼玉県との連携による「健康長寿」への取り組み推進！

新しい理念とチャレンジ、選択による未来を！

①50億円を超える新庁舎建設費の見直し！
②吉川美南地区への新中学校の早期建設を！
③吉川美南駅東口の開発に
　みどりと医療と産業のビジョンを！

中面に

市長が先頭をきる行財政改革を！

④市長報酬の20%カットを！
⑤市民活動を支援する「吉川みらい基金」の設立を！
⑥市長自ら地域をまわる「どこでも市長！」により徹底した情報公開を！
⑦「市民シンクタンク」を設立し、行政と市民が一体となった街づくりを！

教育・医療・福祉こそ最優先に！

⑧フロリデーションの阻止を！
⑨ワクチン問題正常化へ！

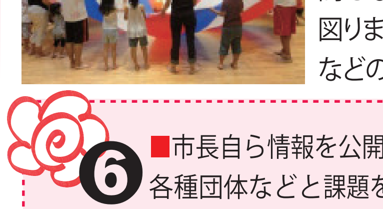
中面に

⑩幼保への積極的支援！
⑪学童の充実化！上質な教育を！
⑫埼玉県との連携による「健康長寿」への取り組み

実行されたもの⇒◎　これから実行されるもの⇒○
実行できなかったもの⇒✕　でチェック!!

✕❹ ■「市長報酬の20%カット」案を、昨年27年6月議会に上程しましたが、「市長のパフォーマンスにすぎない（共産党・高野議員）」などという理由で、自民みらい・共産の反対多数で否決されてしまいました。■市長が先頭をきって行財政改革を進め、「市民活動への支援をより厚く」と考えた案でしたが、残念な結果です。掲げた提言の中で唯一の不実行となってしまいました。

◎❺ ■市民活動を支援する「吉川市みらいステップアップ助成金」を設立します。NPO法人などはもちろんのこと、立ち上げ間もない小さな団体への支援も行い、「市民力のUP」を図ります。■募集・選考は秋頃から!教育・環境・スポーツなどの各種団体の応募をお待ちしています!



◎❻ ■市長自ら情報を公開する中で、自治会や各種団体などと課題を共有し、共動による解決を目指す「どこでも市長」。■これまで13回開催しました。みなさんの会でもお気軽にお声をおかけください！どこへでも伺います！

◎❼ ■「市民シンクタンク」が設立されました！年齢・性別・地域・職種等にかかわらず、年間を通じて募集を行っています。■公共交通、学童保育、水素利活用等々これからの吉川市の目指すべき道を皆さんと力を合わせて切り開きたいと思います。

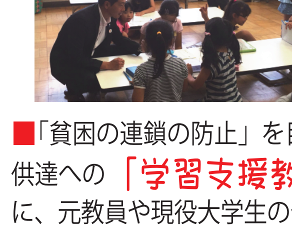
◎❿ ■保育現場の方々との意見交換を経て、「施設のインフラ整備への支援」、「保育士の方々への支援」、「子供達の図書、イベント事業への支援」等々を一歩一歩進めてきました。

■また、保護者の方々とも意見交換を行い、「保育の質の向上」、「費用負担の軽減」、「兄弟姉妹加点など入園基準の見直し」等々を進めています。

■今後はさらに、「大学等との連携による保育の質の向上や保育士の育成・確保」、「小規模保育や認可外保育と行政のさらなる連携」も進めてゆきます。

■皆さんの「希望する保育」の実現のために、様々な施策を展開してゆきます。

○⓫ ■「実体験の蓄積」と「コミュニケーション能力の向上」を重視した教育を展開する為にも「子供の体験活動事業」や、「地域寺子屋事業」などのこれまでの事業を推進するとともに、民間の力なども導入し、子供達の「放課後の新たな過ごし方」を作りあげます。



■「貧困の連鎖の防止」を目的とする、生活困窮世帯の子供達への「学習支援教室」。市役所の会議室を会場に、元教員や現役大学生の皆さんがとても丁寧に指導してくださっています。■子供達も皆、真剣。たくさんの愛情に包まれて、大きく羽ばたいて欲しいと思います。

◎⓬ ■吉川市と埼玉県とが連携して行った「健康長寿事業・毎日1万歩運動」。

歩数計をつけて、半年間、毎日1万歩の歩行に取り組み、血液検査、身体・体力測定等も実施し効果を検証。■先行して実施した東松山市では参加者1人あたりの医療費抑制効果が約2万3千円にも!!平成27年度の参加者は144名。平成28年度も、さらにアイディアを出して行ってゆきます！

健康長寿埼玉 推進宣言書署名